

講座分野	担当者	講座タイトル	講座内容	講義形式	オンライン実施	先方準備物品
看護全般	教授 中村 和代	看護職への道	看護師・保健師・助産師に関心がある学生さんへ 看護師になるまでの道、大学と専門学校の違い 看護職の働き方や活躍する場所、やりがい他 受験対策、入学後の学修支援などお話しします。	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン
基盤臨床看護学	教授 鶴田 明美	救急、集中治療の現状と看護師の役割	家族の体調が急に悪くなった、自分の目の前で突然人が倒れたなど、一分一秒でも早い対応が救命につながります。体調の急変や事故、災害などにより救命救急対応、集中治療が必要になった方々への治療と生命の危機的状況下で不安な状態に陥った患者や家族に対して看護師が果たす役割について講義します。	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン
共通・統合	准教授 近末 清美	チーム医療を知ろう！－看護師のリーダーシップ－	現在の医療現場では、多職種の医療専門職が連携しながら一人の患者さんの治療にあたる、チーム医療が目まぐるしく注目されています。 看護師は、チーム医療のキーパーソンとして患者様や多職種から期待されています。講座を通して、チーム医療における看護師の役割についてお話しします。 【内容】 1. チーム医療とは 2. チームの中での看護師のリーダーシップ 3. 自分のリーダーシップを知ろう	講義、演習	可	PC、プロジェクター、スクリーン
老年看護学	教授 中村 和代	認知症について正しく知って、安心して生活できる地域を目指そう	高齢者人口の増加に伴って、認知症の人も増加傾向にあります。認知症の人が、住み慣れた地域で安心して生活できるように認知症について正しく理解し、周囲の高齢者の方にも関心を持って欲しいと思います。街中で「おやっ」と感じた場面で声をかける勇気や困っている人を支援する方法、安全に安心して生活できる地域について一緒に考えてみましょう。	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン
老年看護学	教授 中村 和代	"がん教育"を通して「健康や命の大切さ」について考えよう	「2人に1人ががんにかかる」時代です。「がん＝死」ではなく、がんについての正しい知識を持ち、がんと診断されてからも、その人らしくより良く生きること、命の大切さについてお話しします。また、健康を維持するためのご自身の生活習慣についても振り返ってみましょう。 備考：「がん教育外部講師のためのeラーニング：医療者編」「がん教育外部講師のためのeラーニング：がん経験者・家族編」受講済	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン
老年看護学領域	助教 本田 歩美	高齢化と公共の福祉について考える	高齢化が私たちの生活にどう関わっているかをお話しします。グループワークを通して、まちづくりと私たちの身近にある生活資源（公共交通機関、スーパー、医療機関など）がどう関係しているか、高齢化とどう関係しているか、高校生の皆さんと一緒に考えていく講座です。	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン

地域看護学領域（公衆衛生看護学）	教授 眞崎 直子	健康なまちづくりの取り組みー地域看護学ー	わが国の平均寿命は世界的に見て長いが、元気で長生きの健康寿命は必ずしも長いとはいえない状況です。また、健康なまちづくりの取り組みから、一人一人の健康づくりを地域全体で考えることが大切とされています。高校生の皆様と一緒に地域での健康課題を知っていただき、健康づくりに向けた取り組みの事例を紹介します。さらに、自らの健康と家族や周囲の人の健康づくりにも関心を持っていただきたいと思います。教員が学生と共に地域で健康づくりを取り組んだ事例を交えながら健康なまちづくりをともに考えたいと思います。また、健康づくりチェック表を使って自らの健康状態を可視化する演習も行います。	講義、演習	可	PC、プロジェクター、スクリーン
在宅看護学	教授 橋口 ちどり	訪問看護師の仕事	多くの人々は病気や障がいがあっても家で過ごしたい希望があります。しかし、症状に関する不安や療養上の困りごとと同時に抱える場合も少なくありません。自宅などで療養する人々の不安や困りごとに対して共に考え支援していく役割を持つ者が訪問看護師です。訪問看護師の活動ややりがい感などについて紹介します。	講義	可（できれば対面で）	PC、プロジェクター、スクリーン
精神看護学	准教授 谷 多江子	あなたは大丈夫？ーゲーム依存についてー	近年、中高生のゲームへの依存が広がり、WHO（世界保健機関）の国際疾病分類にも依存症の領域に「ゲーム障害」という病名が追加されました。ゲーム依存で起こる問題は、身体的問題、生活上の問題、精神的問題と幅広く、また、気づかないうちに深刻になっていきます。そこで、ゲーム依存の実態、依存のプロセス、ゲーム依存で起こる問題などについて一緒に考えていきたいと思います。	講義	可	PC、プロジェクター、スクリーン
精神看護学領域	助教 八谷 美絵	自分のWRAPを作ってみませんか？	WRAPとは、Wellness Recovery Action Planの頭文字を取って「WRAP」と表記し、「ラップ」と読みます。 WRAPは、精神的な困難を経験した人たちが健康であり続けるための知恵や工夫から作られました。現在は障害の有無に関わらず、自分の心身の状態を把握し、自分らしい健康な生活を楽しむためのセルフヘルプツールとして世界各地で取り入れられています。 生きてると、悲しいことや辛いことに出会うことがあります。また、高校卒業後の進路や人間関係について悩むこともあると思います。そんな時、自分のWRAPがあれば、何か対処法を見つけることができたり、また、ゆっくりと歩き出すことができるようになるかもしれません。日々の思いをシェアしながら、自分自身を知りかけ作りになればと思います。	演習	可	PC、プロジェクター、スクリーン